

京都精華大学 教育後援会 2022年度 第2回役員会 議事録

開催日時：2022年10月29日（土）11時～12時

開催場所：オンライン

出席役員：

（会長）小村 哲也、（副会長）寺田 勝一、（会計）井上 孝晴、（以下、学部幹事）溝井 浩、篠崎 聡、久保園 順子

本学参加者：

（学長・教育後援会顧問）澤田 昌人、（副学長）吉岡 恵美子、（副学長）蘆田 裕史、（学生部長）三河 かわり、（教学グループ長）大羽 勇憲、（学生グループ長）出口 尚宏、（経営企画グループ長）舟津 潤、（経営企画グループリーダー）矢澤 愛

記録：（経営企画グループ）猪川 綾子

報告事項

1. 2022年度教育懇談会開催報告
2. 2022年度寄付事業について

議事事項

1. 2023年度総会及び教育懇談会の開催方針について
2. 2023年度寄付事業について（案）
3. その他

今回の決定事項

- ・2023年度の総会、教育懇談会について、今年度と同じ形式で開催されることが承認された。総会は事前に会員にオンラインアンケートをとり、当日は役員会形式で開催される。総会の様子はオンライン配信予定。教育懇談会は本学での対面面談と、オンライン面談を組み合わせる実施することが承認された。
- ・2023年度寄付事業（案）について、①奨学金の充実、②キャリア支援活動への賛助、③学内環境の整備支援、④食環境の充実、⑤入学記念品からなる5事業案と、新提案として⑥2023年度寄付事業について会員にアンケートで募集した結果を含めて第3回役員会に提案することが承認された。

議事に先立ち

澤田学長から、本学に届いた脅迫状の対応について、学生に対して危害を加える内容の手紙が届いたこと、詳細については関係機関との取り決めがあり説明できないが、学生と教職員の安全を考え、万が一のことを考慮して延期をしたとの説明があった。

報告事項

1. 2022 年度教育懇談会開催報告

事務局から、教育懇談会について、2022 年 7 月 5 日に本学開催、2022 年 10 月 8 日にオンライン開催を実施したことの報告があった。

2. 2022 年度寄付事業について

事務局から、2022 年 7 月の教育後援会総会にて内容が承認された寄付について、現時点の進捗報告があった。最終的な実績報告については、事業実施後に行う。

役員からの質問は以下のとおり

- ・ハラル・ヴィーガン弁当の賛助金額はいくらかとの質問があった。事務局より、1,100 円のお弁当を 500 円で提供していたと回答があった。
- ・クローズタイプのワークブースは移動可能かとの質問があった。事務局より、移動はできないと回答があった。

議事事項

1. 2023 年度総会及び教育懇談会の開催方針

事務局から、2023 年度の教育後援会総会及び教育懇談会の開催形式について説明があった。

総会は今年度と同様に、会員を対象とした事前オンラインアンケート決議を行い、その結果を役員会形式で確認する。総会の様子はオンライン配信を行う予定である。

教育懇談会については、7 月は、教員との個別面談を対面で実施し、職員との個別面談（進路就職、留学相談）は別日にオンラインで実施する。10 月は、教員・職員との個別面談ともにオンラインにて同日実施する。7 月、10 月共に要予約制で当日参加は不可。例年職員相談メニューに入っていた奨学金関連については、相談内容によっては定時開催の懇談会での相談では対応しきれないものがあるため、随時学生支援チームに相談できるようアナウンスするとの説明があった。

その後、本議案は承認された。

2. 2023 年度寄付事業について（案）

事務局から、第 3 回役員会に提案する 2023 年度の寄付事業項目案について、①奨学金の充実、②キャリア支援活動への賛助、③学内環境の整備支援、④食環境の充実、⑤入学記念品の 5 事業案と、新提案として⑥2023 年度寄付事業について会員にアンケートで募集するとの説明があった。

・役員から、アンケートで募集するのは大変良いと思う。それぞれの学科に則したものがあれば良いと思うが、寄付事業をするにあたって公平性などの配慮は必要かとの質問があった。

これに対し、事務局から、特定の学科に特化した寄付事業は難しい。全学生に対してメリットがあるという観点が必要であるとの回答があった。

その後、6 事業案を第 3 回役員会に提案することが承認された。

小村会長から、議事の終了が宣告された。

3. その他

・小村会長から、学内入校時の防犯体制はどのようにされているかとの質問があった。

これに対し、事務局から、警備員が常駐し、夜間巡回も行っており、10/29～11/1の入校禁止期間は警備員を増員して強化対応している。学外関係者の方は警備棟で手続き後に入校することとなっており、本学は正門がない開かれた学園としてアピールしてきた関係で、入校者に対しての防犯カメラは設置していない。教育後援会会長よりこのようなご質問があったことは理事会でも報告すると説明があった。

・小村会長から、防犯カメラの導入に関して費用的なことでは難しい場合は、教育後援会からの費用負担の寄付を考えても良いのではないかと意見があった。

・役員から、最近物価高のため、学生応援メニュー以外で本学生に対する支援はあるかとの質問があった。これに対し、事務局から、京都府からの助成金 300 万円を使用し、学内の食堂とカフェで使用できる 1 人 1,000 円分のチケットを先着 3000 人の学生に配布する取り組みをし、2 週間経った時点で 1500 部ほど出ている。第 2 弾配布を年度内に実施し、全てのチケットを配布する予定との回答があった。

以上